

静岡県鉱工業指数 (平成24年5月分速報)

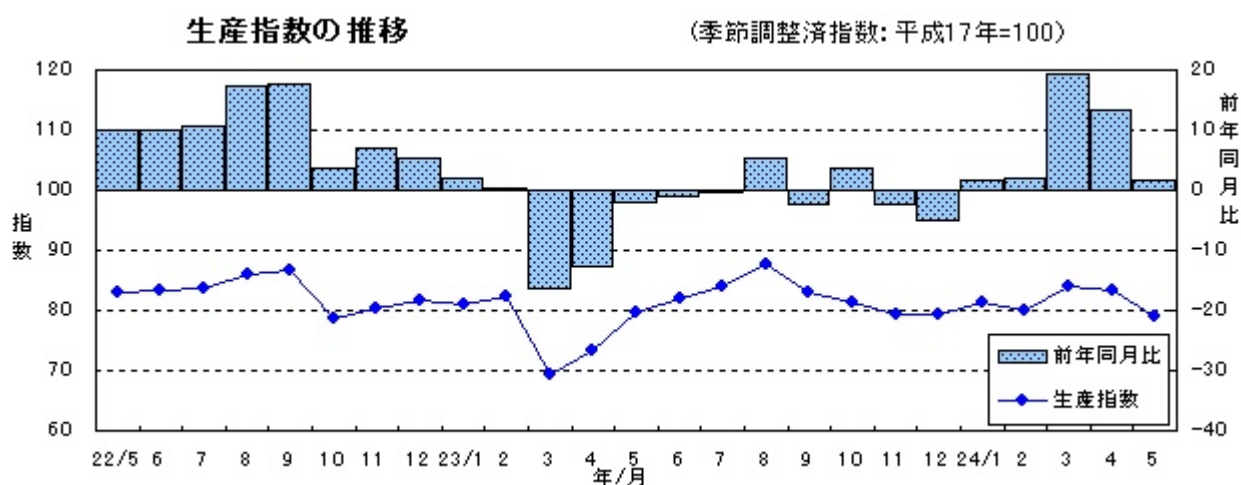
1. 生産の動き

前月比5.4%減(2か月連続して低下)、前年同月比1.5%増(5か月連続して上昇)

5月の鉱工業生産指数(季節調整済:平成17年=100)は78.9であった。

前月比(季節調整済指数)は5.4%減と2か月連続して低下した。また、前年同月比(原指数)は1.5%増と5か月連続して前年を上回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、食料品・たばこ、家具、一般機械等が上昇する一方、電気機械、輸送機械、化学等が低下した。



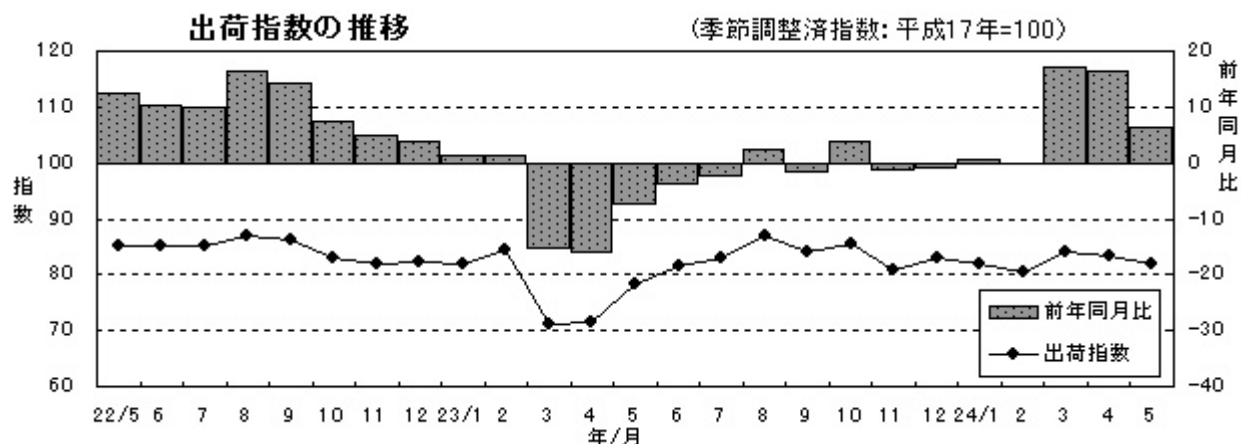
2. 出荷の動き

前月比2.0%減(2か月連続して低下)、前年同月比6.3%増(3か月連続して上昇)

5月の鉱工業出荷指数(季節調整済:平成17年=100)は81.8であった。

前月比(季節調整済指数)は2.0%減と2か月連続して低下した。また、前年同月比(原指数)は6.3%増と3か月連続して前年を上回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、食料品・たばこ、家具、窯業・土石製品等が上昇する一方、電気機械、化学、輸送機械等が低下した。



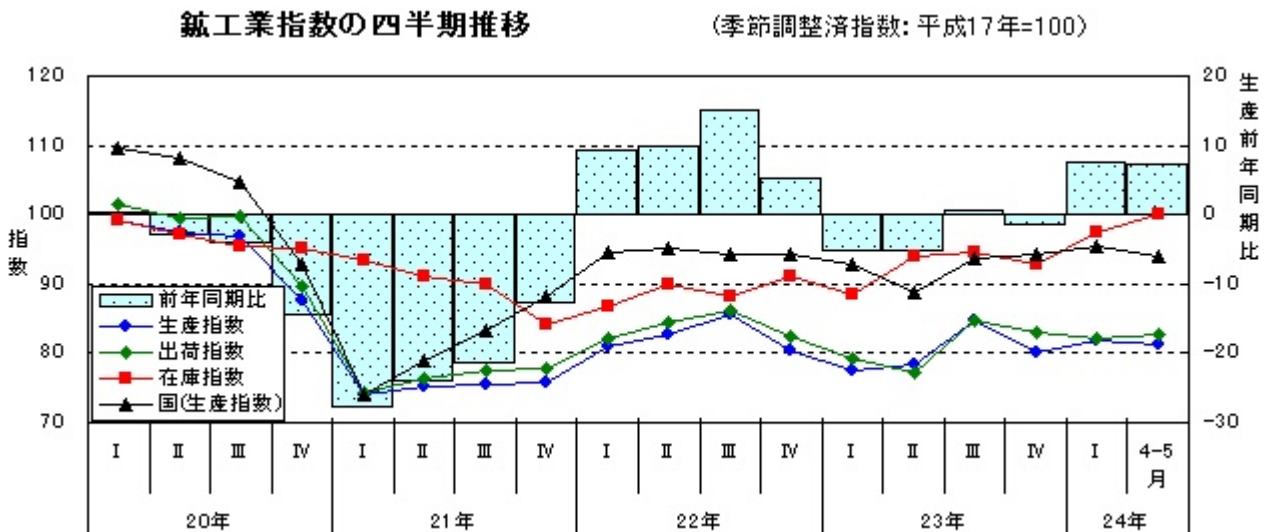
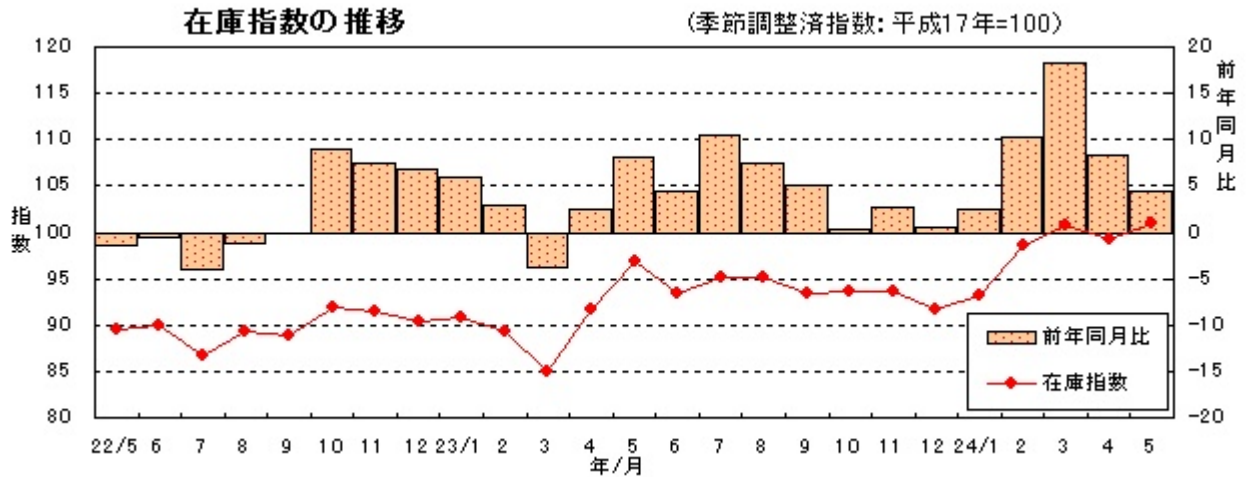
3. 在庫の動き

前月比1.8%増(2か月ぶりに上昇)、前年同月比4.3%増(14か月連続して上昇)

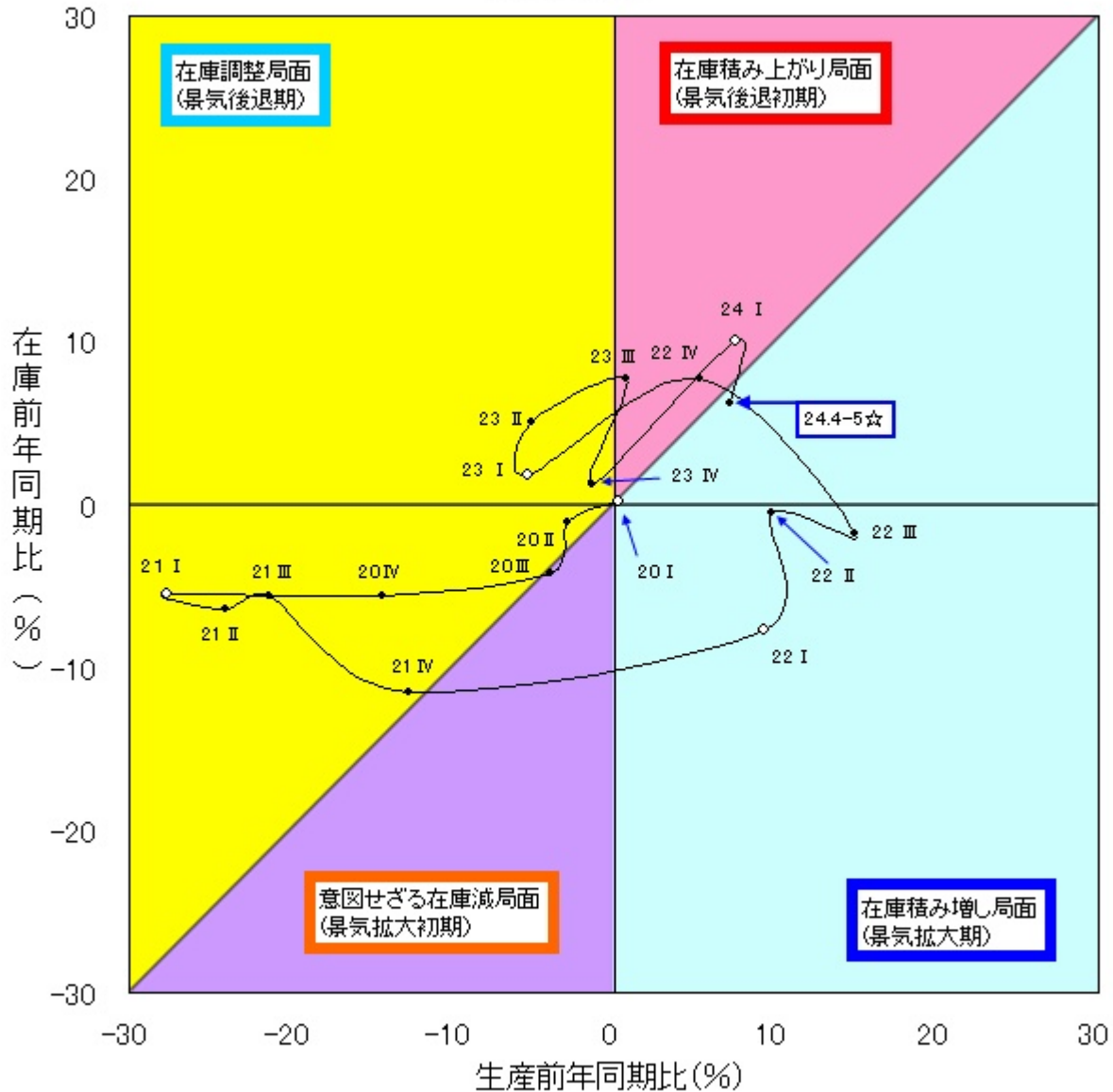
5月の鉱工業在庫指数(季節調整済:平成17年=100)は101.0であった。

前月比(季節調整済指数)は1.8%増と2か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は4.3%増と14か月連続して前年を上回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、化学、輸送機械、非鉄金属等が上昇する一方、食料品・たばこ、パルプ・紙・紙加工品、電気機械等が低下した。



在庫循環図



★ 在庫積み増し局面 (景気拡大期) ← 4-5月はここに該当

需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。

・ 在庫積み上がり局面 (景気後退初期)

供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。

・ 在庫調整局面 (景気後退期)

適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。

・ 意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)

需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。